

第 13 回 自然系調査研究機関連絡会議

記念講演会および調査研究・活動事例発表会プログラム（予定）

2010 年 10 月 21 日（木）

12:00～12:55 開場・受付（ウィルあいち：愛知県名古屋市東区上堅杉町 1 番地）
13:00～13:10 挨拶
環境省生物多様性センター長 水谷 知生
愛知県環境調査センター所長 川津 幹雄
名古屋市環境科学研究所長 岩間 千晃

● 記念講演 13:15～14:15

テーマ「生物多様性研究と生物多様性保全研究

－愛知県における植物研究の現状と課題－

講師 愛知教育大学教授 芹沢 俊介 氏

● ポスター発表コアタイム 14:15～15:00

※発表タイトル及び発表者は下記を参照

● 口頭発表 第一部 地域の自然情報と保全活動 15:00～16:15

座長：石塚 新（環境省生物多様性センター）

15:00～15:15 0-1 内海谷湿原（真庭市蒜山）の復元－対策と成果
岡山県自然保護センター 西本 孝
15:15～15:30 0-2 市民参加によるカキツバタ群落の保全活動と博物館によるモニタリ
ング
島根県立三瓶自然館 井上 雅仁
15:30～15:45 0-3 名古屋市内河川底生生物調査について
名古屋市環境科学研究所 榊原 靖
15:45～16:00 0-4 汐川干潟の水質浄化機能について
愛知県環境調査センター 河合 孝枝
16:00～16:15 0-5 長野県の生物多様性の概況と地域戦略の策定
長野県環境保全研究所 須賀 丈

（ 休 息 15 分 ）

● 口頭発表 第二部 希少種の保全 16:30~17:15

座長：須田 隆一（福岡県保健環境研究所）

16:30~16:45 0-6 千葉県の絶滅危惧種、シャープゲンゴロウモドキおよびヒメコマツの回復計画について

千葉県生物多様性センター 柳 研介

16:45~17:00 0-7 岩手県におけるイヌワシの営巣地改善

岩手県環境保健研究センター 前田 琢

17:00~17:15 0-8 絶滅危惧魚類ムサシトミヨの保全に関する研究

埼玉県環境科学国際センター 三輪 誠

● 口頭発表 第三部 外来種・有害野生動物の現状と課題 17:15~18:30

座長：林 道夫（名古屋市環境科学研究所）

17:15~17:30 0-9 ヌートリア対策の経緯と課題ー捕獲およびモニタリングの結果から

岡山県自然保護センター 森 生枝

17:30~17:45 0-10 鳥獣害を可視化する：GISによる鳥獣害関連情報の地図化と活用

福井県自然保護センター 水谷 瑞希

17:45~18:00 0-11 丹沢山地のブナ林衰退とブナハバチの葉食被害

神奈川県自然環境保全センター 谷脇 徹

18:00~18:15 0-12 イノシシの能登地方への侵入

石川県白山自然保護センター 林 哲

18:15~18:30 0-13 日本に侵入した外来カワリヌマエビ属の現状と在来種との交雑の可能性について

滋賀県琵琶湖環境科学研究所 西野 麻知子

18:30 閉会

● ポスター発表タイトル及び発表者

- P-1 生物多様性保全をめざした水田内環境整備について
愛媛県立衛生環境研究所 好岡 江里子
- P-2 埼玉県におけるアライグマの生息状況
埼玉県環境科学国際センター 嶋田 知英
- P-3 7年ぶりの管理再開によってミチノクフクジュソウ群落は蘇るか
福井県自然保護センター 平山 亜希子
- P-4 生息地の人的管理形態と周辺景観の違いがチョウ類の多様性と希少種分布に及ぼす影響について
山梨県環境科学研究所 北原 正彦
- P-5 福岡県における希少植物・群落の分布特性とその保全
福岡県保健環境研究所 須田 隆一
- P-6 小笠原諸島の陸水産固有種の保全に関する研究
(独)国立環境研究所 佐竹 潔
- P-7 愛知県内の山野で繁殖する鳥類の経年変化
愛知県環境調査センター 清水 美登里
- P-8 いきものみつけ事業について
環境省生物多様性センター 石塚 新・水落 朋子
- P-9 北海道石狩地方の田んぼを利用するアオサギの生態
北海道総合研究機構 環境科学研究センター 玉田 克巳
- P-10 石川県における岩礁海岸のモニタリング調査
石川県のと海洋ふれあいセンター 坂井 恵一
- P-11 ライブカメラ画像の活用による多地点の植生フェノロジー観測について
(独)国立環境研究所 小熊 宏之
- P-12 群馬県中西部における絶滅危惧雑草・ミゾコウジュとコギンギシの分布の現状
群馬県立自然史博物館 大森 威宏
- P-13 赤城山におけるシカ個体数調整と植生被害防止対策
群馬県立自然史博物館 姉崎 智子

(敬称略)